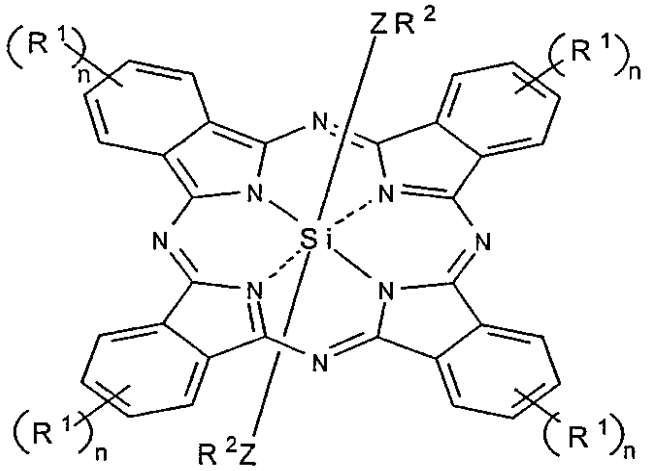
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公表番号】特表2006-501494(P2006-501494A)
【公表日】平成18年1月12日(2006.1.12)
【年通号数】公開・登録公報2006-002
【出願番号】特願2004-537864(P2004-537864)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/167　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　71/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　47/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　47/08　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　47/14　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/17　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/167
Ｃ０８Ｌ　71/00
Ｃ０９Ｂ　47/00
Ｃ０９Ｂ　47/08
Ｃ０９Ｂ　47/14
Ｇ０２Ｆ　1/17

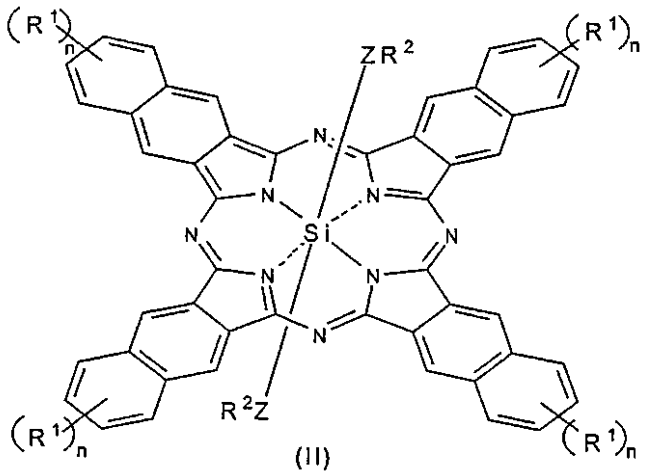
【手続補正書】
【提出日】平成18年9月7日(2006.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
該パーフルオロポリエーテルは、デュポン社Ｋシリーズ及びソルベーソレクシズ社ＨＴシリーズから選択される請求項１に記載のディスプレー流体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項７】
該ハイドロフルオロポリエーテルと該パーフルオロポリエーテルとの重量比は、約２／９８～約９８／２である請求項１に記載のディスプレー流体。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】
Ｓｉフタロシアニン又はナフタロシアニン色素及びＣｕフタロシアニン又はナフタロシアニン色素の混合物を溶解して更に含む請求項１に記載のディスプレー流体。
【手続補正４】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１３】
該Ｓｉフタロシアニン又はナフタロシアニン色素は、
【化１】



(I)

又は
【化２】



(II)

［ここで、
ｎの各々は、個々に、シリコンフタロシアニン（Ｉ）については０～４であり、シリコンナフタロシアニン（ＩＩ）については０～６であり、
Ｒ^{1}は独立して、Ｒ$_{f}$－Ａ－（Ｒ$_{f}$は、下記のように規定され、Ａは単結合、－ＣＨ$_{2}$Ｏ－、－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$Ｏ－又は－ＣＯ－）、アルキル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアルキルアリール、アルキル－ヘテロアリール、ヘテロアリールアルキル、アリール－ヘテロアルキル、Ｒ’Ｏ－、Ｒ’Ｓ－、Ｒ’Ｒ”Ｎ－、Ｒ’ＣＯ－、Ｒ’ＯＣＯ－、Ｒ’ＣＯＯ－、Ｒ’ＣＯＮＲ”－、Ｒ’Ｒ”ＮＣＯ－、Ｒ’ＮＨＣＯＮＲ”－、Ｒ’ＳＯ$_{2}$ＮＲ”－又はＲ’Ｒ”ＮＳＯ$_{2}$－（ここで、Ｒ’及びＲ”は、独立して、水素、Ｒ$_{f}$（下記のように規定）、アルキル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアリールアルキル、アリール－ヘテロアルキル、ヘテロアルキルアリール又はアルキル－ヘテロアリール）又はハロゲン化された、特にフッ素化されたそれらの誘導体、
Ｚは、Ｏ又はＮＲ’、ここで、Ｒ’は、上述のように規定される、

R^2は、水素、R_f－Ｂ－（R_fは、下記のように規定され、Ｂは単結合、－CH_2－又は－CH_2CH_2－）、アルキル、ヘテロアルキル又はハロゲン化された、特にフッ素化されたそれらの誘導体、又は－ＳｉR^3 R^4 R^5（ここで、R^3、R^4及びR^5は、独立して、１～２０の炭素原子を有するアルキル又はフルオロアルキル基又は２～４０の炭素原子を有するアルコキシ又はフルオロアルコキシ）であり、並びに
R_fは、一又はそれ以上のタイプのフッ素化されたモノマーから製造される低分子量（１００～１００，０００）のフッ素化されたポリマー又はオリゴマー部分である。］
である請求項１２に記載のディスプレー流体。
【手続補正５】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２６】
該パーフルオロポリエーテルは、［トリフルオロ（トリフルオロメチル）オキシラン］のホモポリマーである請求項２５に記載のディスプレー。
【手続補正６】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２７】
該パーフルオロポリエーテルは、デュポン社Ｋシリーズ及びソルベーソレクシズ社ＨＴシリーズから選択される請求項２５に記載のディスプレー。
【手続補正７】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２８】
該パーフルオロポリエーテルは、ソルベーソレクシズ社ＨＴ１７０、ＨＴ２００、ＨＴ２３０及びデュポン社Ｋ６及びＫ７から選択される請求項２７に記載のディスプレー。
【手続補正８】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２９】
該ハイドロフルオロポリエーテルは、ソルベーソレクシズ社ＺＴシリーズから選択される請求項２５に記載のディスプレー。
【手続補正９】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３０】
該ハイドロフルオロポリエーテルは、ソルベーソレクシズ社ＺＴ１８０である請求項２９に記載のディスプレー。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３１】
該電気泳動ディスプレー流体は、Ｓｉフタロシアニン又はナフタロシアニン色素及びＣｕフタロシアニン又はナフタロシアニン色素の混合物を溶解して含む請求項２５に記載のディスプレー。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３２】
Ｓｉ色素とＣｕ色素との重量比は、約１／１０～約１０／１である請求項３１に記載のディスプレー。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３３】
Ｓｉ色素とＣｕ色素との重量比は、約１／４～約４／１である請求項３２に記載のディスプレー。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３４】
Ｓｉ色素とＣｕ色素との重量比は、約１／２～約２／１である請求項３３に記載のディスプレー。